

## ①題：「第二のペンテコステ」(36分)

2200730

説教者 : 花田憲彦  
聖書朗読 : 使徒行伝 10章 44~48節  
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『患難から栄光へ』第14章

「この世にはわれわれが考えているよりも、神のみ国に近づいている者がたくさんいる。神はこの暗い罪の世にも多くの貴重な宝石のような人々を知っておられ、彼らにご自分の使者をお送りになる。キリストの側に立とうとする者はどこにでもいる。地上のどんな特権よりも神の知恵を尊んで、忠実に光をかがげる者となる人が大勢いる。キリストの愛に迫られた彼らは、キリストのみもとに行くように他の人々に迫るのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 253番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 105番

## ②題：「聖霊：信仰『と』生活ではなくて」(33分)

230318

説教者 : 長谷川徹  
聖書朗読 : ローマの信徒への手紙 8章 12~17節  
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『患難から栄光へ』第27章

「聖霊の働きによって魂が清められるということは、キリストの性質を人間の中に植えつけることである。福音を信じることは、生活の中にキリストが宿ること—すなわち、生きた活動的な原則が宿ることである。それは、品性によい行いとなってあらわれるキリストの恵みである。福音の原則は、実際の生活のどの方面からも引き離すことはできない。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 238番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 364番

## ③題：「ヨハネの神」(34分)

230708

説教者 : 山路俊晴  
聖書朗読 : ヨハネによる福音書 2章 25節  
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『各時代の希望』題 35章

「イエスが静かに落ちついておられたのは、天と地と海の主としてではなかった。イエスはその大能の力をさしおいて、「わたしは、自分からは何事もすることができない」と言われる（ヨハネ 5：30）。彼は天父の力に信頼された。イエスが安心しておられたのは、信仰、すなわち神の愛と守りに対する信仰のゆえであった。嵐を静めたみことばの力は神の力であった。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 312番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 350節

### ◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)  
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。